

『月刊広報』で つばめ市議会ノートブックが 紹介されました

もっと×2
身近な広報へ

“「変わる議会」を印象づける広報紙リニューアル”のタイトルで、全国の10市の議会だよりを紹介した「月刊広報3月号」。燕市の議会だよりも「スタイリッシュで目を引く紙面設計」との見出しで「相当の準備・検討期間を経て現在のスタイルにたどり着いたことをうかがわせる」「委員会の研修・視察や議会の情報公開、市民の声など、定例会以外の話題をイキイキと伝え、ラストページまで読者を飽きさせない」と紹介されました。

また、「定例会開催告知ポスター」（兵庫県・明石市議会）、「議会ののぼり旗を掲げて駅頭配布し“開かれた議会”をPR」（東京都・あきる野市議会）など、私たちの次なる目標となるものも紹介されていました。「燕市議会はまだまだ発展途上」を自覚して、多くの刺激の中で市民に近づいていきたいと思います。



ようこそ・燕市へ「全国の皆さん、ともに学びましょう！」

結城市議会
来燕

議会広報について ともに学ぶ

1月18日に茨城県結城市の『ゆうき市議会だより』を担当する議会情報推進委員会の皆さんが来燕され、議会だよりづくりについて、それぞれが抱える課題とお互いの取り組みに対して、意見交換をしました。

結城市議会はカセットテープ版の発行や、希望者への対面朗読を行うなど、その取り組みは燕市議会としても大きな刺激となりました。

結城市議会 船橋委員長にインタビュー
— 今日はお越しいただきました。
結城市さんの議会だよりと比較しながら、
率直な印象などをお聞かせください。



燕市の委員全員が出席し、率直な意見交換を行いました



船橋委員長

議会としては改革に向けて進めており、まず初めに広報紙を何とかしたいと考えていたところです。

ゆうき市議会だよりは「かたいイメージではないか」との指摘を受けましたが、燕市議会だよりは柔らかさが出ていると感じました。よい研修ができたと思います。

